



地域と共に歩むコミュニティ・スクール（商業科・情報処理科）



埼玉県立皆野高等学校



ホームページ

皆野高校 コミュニティ・スクール 学校運営協議会 出浦洋介 委員 よりご挨拶（オフィスプラス株式会社）



学校運営協議会委員の出浦洋介と申します。学校の直ぐ近くで、「みならのLABO」という3Dプリンター等のようなデジタルファブリケーションを複数備えたコワーキングスペースを運営しております。

約30年前、この学び舎に思いのある卒業生でもあります。平成元年度、情報処理科が出来て初めての生徒でした。1クラスだけでしたので同じ仲間が3年間一緒に、47名が入学し、一人も欠けることもなく全員卒業出来ました。当時の大きなイベント(体育祭・文化祭)では、皆が団結し、そこで仲間ができたのも良き思い出です。

さて現在、全国的に少子化等人口減少に関わる課題があり、皆野町も例外ではありません。国の方向性としても、地方創生を看板に社会基盤を整えております。皆野高校も影響を受けたひとつかもしれません。今後訪れる well-being な社会を視野に入れ、校舎の活用等については形を変えた柔軟な教育環境を目指すのもひとつです。この高校(町)だから出来るという期待があります。なぜならば30数年前、情報処理は将来的に重要であると捉え、地域でもいち早く新しい科が出来、制服がブレザーに変わり、そこで私のような変わり種の人材が生まれました。これから出てくる人材にも、期待が大きいです。

学ぶ素材、環境も生徒と一緒に考え、発想を豊かに大きな志を持ち、今までにないキャリア教育の仕組み等、教育が地域に受け継がれていく事により社会に必要とされる皆野高校。地域外の企業・教育関係等色々な方々を巻き込み、町ぐるみで盛り上げていきたいですね。

皆野町教育委員会主催 「皆野教育シンポジウム」へ参加

～学校・地域・企業連携型の人材育成の在り方を協議～

中学生・大学生・地域の方々と共に、皆野町の未来について考えました

12月1日(金)町教育委員会と町コミュニティ・スクール推進委員会の主催により皆野中学校を会場に130名以上が参加し開催されたシンポジウム。本校生徒は、公開授業として体育館の壇上から「なんちゃって!?みそぼてサブレ」開発から町の関係人口創出に向けて取り組んできたプレゼンを発表しました。中学生からも「私も高校生になったらあのようなカッコいい発表をしたい」などの憧れの声もいただきました。参加者の方々からも「わかりやすかった、ポイントを押さえていた、論法がしっかりしていた、様々な角度から取り組んでおり検証もしっかりしていた、今後の更なる取組が楽しみ」など賞賛の声をいただきました。ありがとうございました。現在2年生が新たな継続した取組を授業で検討中です。引き続き注目していただき、ご支援をお願いします。



地域の力をお借りした「人権教育」を開催

6分科会を開催 3分科会で講師を皆野町の方に引き受けていただきました

12月19日(火)全校生徒対象の人権教育を町福祉課の協力をいただき実施しました。①身の周りで起きている人権問題を知る。②生活の中で困っている人に気付けるようになる。③困り感のある人がされて嫌なこと・されたら嬉しいことを知る。という3つの目標をたて、全体会で身の周りで起きている人権問題の概要を学び、生徒たちはクラスごとに希望する分科会で3種類の講義や体験に取り組みました。6分科会を設置。(1)カーサ・ミナノ様の「足の不自由な方への理解促進」、(2)町社会福祉協議会様の「高齢者に起きる人権問題と福祉」、(3)町健康こども課様の「社会における女性の不自由さと福祉」、(4)秩父特別支援学校様の「手の不自由な方への理解促進」、(5)県立総合教育センター様の「困り感のある人への理解促進」、(6)小鹿野町移住コーディネーター様の「来日外国人に対する人権問題」の6種類です。生徒たちは様々な気づきや驚きなど刺激を受け、多くの学びを得ることができました。地域の方々と連携した取組は、教育的な効果も大変大きいものがあります。講師の皆様、ありがとうございました。



(1)車椅子体験



(2)高齢者疑似体験



(3)妊婦体験等



(4)折り紙体験



(5)困り感の体験



(6)エッセさんとディスカッション

皆野高校の入口、長生荘に設置してある看板をリニューアルしました。
引き続き、皆野高校の生徒たちをよろしくお願いします。



町役場ロビーと町総合センター（公民館）に
皆野高校専用パンフレットラックを設置させていただきました。
皆野高校の情報を随時配架します。ぜひ手に取ってご覧ください。

皆野高校への引き続きのご支援、よろしくお願いします。